# Sinsy



HMM-based Singing Voice Synthesis System

# 「あの人に歌ってほしい」を かなえるHMM歌声合成システム

◎大浦圭一郎 (名工大)

間瀬絢美 (名工大)

山田知彦 (名工大)

◎徳田恵一 (名工大)

後藤真孝 (産総研)

## はじめに



- 歌声合成
  - VOCALOID, UTAU, Cadenciiなどの普及
  - 認知度の向上
- 要望:好きな声で好きな歌を歌わせたい
  - VOCALOIDシリーズ
  - UTAU (様々なUTAU音源)
- 課題:自然に歌わせるための調整作業が必要
  - 人手に基づく調整
  - 一般ユーザーには敷居が高い
  - ユーザー歌唱に基づく調整(VocaListenerなど)

## HMMに基づく音声合成手法

//

- HMMテキスト音声合成
  - 波形を保持しない
    - ⇒ 小さなメモリ容量で動作
  - 統計モデルに基づく手法
    - ⇒ 適切なパラメータ変換で多様な声質が合成可能
  - 全自動学習
    - ⇒ 話者の声質を再現
- 合成音声サンプル
  - 読み上げ合成音声:日本語 ◆ 英語 ◆ 中国語 ◆

# Sinsyプロジェクト



HMM-based Singing Voice Synthesis System

#### 経緯

- 2002年 HMM歌声合成システム構築 [酒向他]
- 2004年 RENCON歌声部門参加 [大浦他]
- 2007年 VOCALOID2発表
- 2008年 VocaListener発表
- 2009年 5月 Sinsyプロジェクト発案 [後藤他]
- 2009年 8月 Sinsyプロジェクト開始 [徳田他]
- 2009年12月 <u>Sinsyオンラインデモページ・デモ動画</u>公開
- 2010年 4月 DTMマガジン「音楽情報処理最前線」
- コンセプト
  - CGM的・オープンソース的アクティビティの活性化
  - 2次創作・N次創作への貢献

## 関連コミュニティにおける反響



- MusicXML関連ツールの開発・公開
  - ファイルフォーマットコンバータ型
  - スコアエディタ型
- 多くのMusicXMLのアップロード
  - 公開から昨日(2010/07/27)までで2059回
  - 利用規約 ⇒ 合成波形の自由な利用を保証
- ユーザー作品一覧
- キャラクタ案: A, B, C
- twitter, blog等の情報Sinsyオンラインデモページへのフィードバック

- 名工大で開発されたHMM歌声合成システム HMM-based Singing Voice Synthesis System
- ユーザーはオンラインデモページに楽譜をアップロードすることにより、歌声を合成可能
- HMMテキスト音声合成を歌声に応用
  - 多様な合成歌声
  - 調整作業が不要(ベタ打ちのみでOK)
  - 全自動学習
  - 少量のメモリ容量で動作(数Mbytes)
- オープンソースのソフトウェアを利用して構築

# 構築に利用したソフトウェア



- 波形の分析
  - Speech Signal Processing Toolkit (SPTK)
  - STRAIGHT
- HMMの学習
  - HMM-based Speech Synthesis System (HTS)
- 楽譜(MusicXML)の変換
  - CrestMuseXML (CMX)
- 波形の合成
  - HMM-based Speech Synthesis Engine (hts\_engine API)

## 楽譜の入力ツール



HMM-based Singing Voice Synthesis System

## 楽譜(MusicXML)を出力できるツールを利用

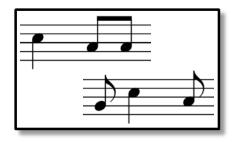
- 商用
  - Cubase
  - Finaleシリーズ
- フリー
  - Cadencii
  - sinsyconv
  - utau2sinsy
  - VSQ to MusicXML Conversion

- MuseScore
- ust2musicxml
- vocalips2musicxml

# HMM歌声合成システムの概要



HMM-based Singing Voice Synthesis System



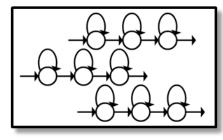


xx^xx-sil+d=e/A:xx-... xx^sil-d+e=N/A:xx-... sil^d-e+N=d/A:xx-... ... ... N^m-u+sh=i/A:1-... m^u-sh+i=m/A:2-...

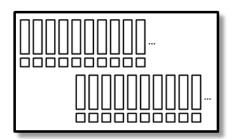


歌詞付き楽譜(MusicXML)

ラベル









**HMM** 

楽譜に対応した歌声波形

スペクトルと基本周波数 パラメータ



学習ステップ

合成ステップ

## 導入手法1/5:コンテキスト



HMM-based Singing Voice Synthesis System

- テキスト音声合成 音素、品詞、アクセントなど
- 歌声合成のためのコンテキストを新たに定義 音素、モーラ、音符、フレーズ、曲
  - ⇒ 階層毎に整理, 対称性を考慮

音素	当該音素	0	0	k	i	n	а	k	u	r	i	n	0	k	i	n	0	S	i	t	а	d	е
モーラ	音符内モーラ位置	1	2	1		1		1		1		1		1		1		1		1		1	
	音符内モーラ長	2		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1	
音符	音高	C4		С	4	D4		E4		E4		G4		E4		E4		D4		D4		C4	
	音長	4	4		3	æ	3	8		8		4		8		8		8		8		4	
	相対音高	(	)	0		2	2	4	1	4		5		4		4		2		2		0	

:

# 導入手法2/5: ビブラート



HMM-based Singing Voice Synthesis System

• ビブラート

基本周波数、音量等を周期的に揺らす歌唱表現

Waveform



 $\mathsf{Log}\,F_0$ 



: Vibrato

対数基本周波数系列からビブラートを抽出⇒スペクトル、基本周波数と同様にモデル化

# 導入手法3/5:タイミング

//.

HMM-based Singing Voice Synthesis System

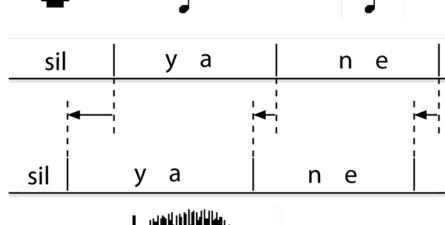
### 音符と実際の発声開始時間のずれを学習

Note timing

time-lags

Voice timing

Waveform of natual singing voice





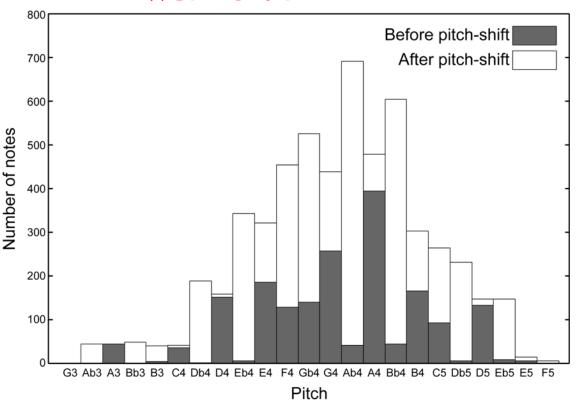
⇒ 継続長モデルと同様にモデル化

# 導入手法4/5:音高シフト

//

HMM-based Singing Voice Synthesis System

#### 音高シフトによる疑似学習データ



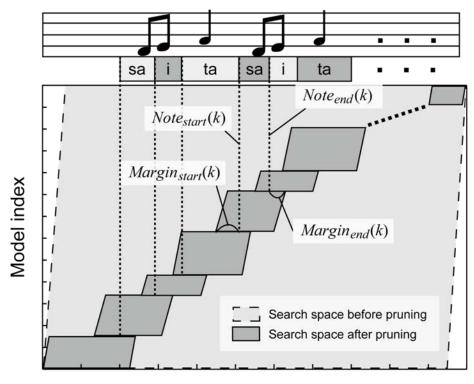
⇒ 学習データ内に少ない音高を適切にモデル化

# 導入手法5/5:学習の効率化

//•

HMM-based Singing Voice Synthesis System

#### 時間情報を用いた効率的な学習



Frame number

⇒ 推定誤りの削減、学習の高速化

# 話者適応



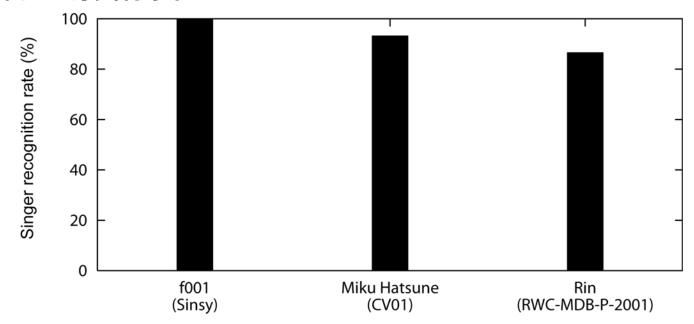
- 話者適応とは目標の声質にモデルを近づける手法
  - 声質・歌い方を真似る
  - 少量のデータでも動作するので低コスト
- 主観評価実験(歌い手を当てる3択クイズ)
  - 元話者
    - f001 (Sinsy): 70曲
  - 適応話者
    - 初音ミク (CV01):5曲
    - 凛 (RWC-MDB-P-2001): 7曲

# 実験結果



HMM-based Singing Voice Synthesis System

• 話者正解精度



- 高い正解精度
  - ターゲットの歌い手の特徴をもった歌声
  - 特定話者モデルでは話者性を高精度に再現可能

# デモンストレーション

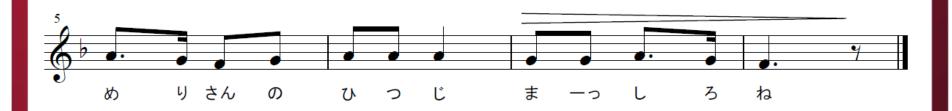


HMM-based Singing Voice Synthesis System

### メリーさんの羊◆

- 1. f001 (Sinsy)
- 2. 初音ミク (CV01)
- 3. 凛 (RWC-MDB-P-2001)





# 今後の予定



HMM-based Singing Voice Synthesis System

- 新たな歌声モデルのリリース
- 多言語化(日英中)
- ユーザー独自の歌声・楽譜アップロードによる歌声モデルの自動作成
- CEATEC

お手持ちの歌声データ・MusicXMLで 歌声モデルを作ってみたい方は #Sinsyでつぶやいてみてください